

# 東京丸の内ロータリークラブ

2022年1月12日 第91回 議事録



Now…let's act!  
「さあ、行動しよう！」

2021-22年度 クラブ会長  
Club President  
古山真紀子 Koyama Makiko



TOKYO  
MARUNOUCHI  
ROTARY CLUB

“SERVE TO CHANGE LIVES”

2021-22 国際ロータリー会長

シェカール・メータ

2021-22 RI 第2580地区ガバナー  
若林 英博



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

年初にあたり今後の予定を紹介。

例会及び地区のイベントに関する記載している資料、それぞれの取り組みに関する紹介資料をお手元に配らせて頂いた。

本日1月12日(水)は袴田先生のご講演。ホームページのみ載せさせて頂いた。

次回は来週1月19日(水)、NPO法人ねりまねこ副代表の亀山様。

1月27日(木)地区職業奉仕のワークショップ。オンラインでの開催となり、申し込みは来週の例会までに事務局宛連絡。

2月2日(水)再度オープン例会とする。卓話講師は高橋由珠会員。前回はオンラインにて卓話ををお願いした。タイトルは「この1年の運勢は」会員増強に向け色々な方にお声がけください。

2月8日(火)地区のワインの会、ご興味のある方ご一緒にどうぞ。

2月9日(水)地区の公共イメージのワークショップ

2月16日(水)卓話者は池袋RC 次年度会長、小泉博明様は講談師の方。交渉の末にご承諾下さった。

2月19日(土)米山奨学生の張さんが3月いっぽいで卒業。思い出作りに、「新春 張夢竹さんと行く米山梅吉記念館＆うなぎの会」を開催。奮ってご参加ください。

3月2日(水)卓話者は田中美樹子さん。開発途上国のカントリーマネージャーを30年以上務めた方。イエメンでは内戦が続いているが、関連のお話しをしていただく。

逸見さんと同じく、古山会長の高校の同級生の方。

3月3日(木)2580地区の地区大会。皆様に参加していただく。アワードに丸の内作成「5つの小」動画もエントリーしている。参加して結果を見守りたい。

3月16日(水)卓話者は乙武充様。ウナギの実態、フードロス等身近なテーマで卓話ををお願いする。

4月6日(水)千代田6クラブ合同例会。会場:帝国ホテル。東京RCは日本で最初に設立されたクラブ。訪問するには良い機会だと思う。皆様の積極的な参加をお願いします。

4月20日(水)以降は未定。

7.「ロータリーの友」 鷺澤 充代 幹事

「ロータリーの友 12月号」P24~25 P43に記載されている10月24日の世界ポリオデーに関する記事から

## 【式次第】12:00～13:00

- |             |                    |       |
|-------------|--------------------|-------|
| 1. 司会進行     | 吉田 秀樹              | 会員    |
| 2. 開会点鐘     | 古山 真紀子             | 会長    |
| 3. ロータリーソング | 「奉仕の理想」            |       |
| 4. ゲスト紹介    | 尾崎 由比子             | 会員    |
| 本日の卓話者      | チエロ奏者              | 袴田 容様 |
|             | ソーシャル・コモンズ代表 竹本 治様 |       |

5. ニコニコ報告 寿原 裕美子 会員  
尾崎 由比子会員・袴田様、本日の卓話と演奏楽しみにしております。

光行 順子会員…袴田様、本日は卓話をありがとうございます。どうぞよろしくお願ひ致します。

6. 会長新年挨拶 古山 真紀子 会長  
あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。  
本日、2022年最初の例会。当初5日に予定していたが、皆様の出席が難しかった様子、急遽リスクをした。  
袴田容様、お忙しい中突然の変更にご対応頂き、ありがとうございます。  
新春にふさわしく華やかに文化的な例会が開催出来ること、大変うれしく思う。  
ゲストの竹本様、会員の皆さん、多数のご出席ありがとうございます。

最近また感染者が拡大しており、活動にブレーキがかかることを心配している。  
丸の内は緊急事態宣言が出ない限り、今後もリアルで開催する予定。  
体調の悪い方、感染が心配な方はオンライン参加も可能。  
ロータリーの良さは人との交流や繋りにある。  
例会には是非出席頂き、クラブ内の親睦を深めていきたい。  
また地区の行事にも参加頂き、知っている顔を増やし、活動のヒントにして頂ければと思う。

・10月24日ウオークラリーに尾崎会員・光行会員が参加下さった。トレインジャックも行い、ロータリークラブとして大きなイベントの一つだったと思う。

・記事の中に本企画の動機に対して「昨年8月アフリカでのポリオ根絶宣言の報道において国際ロータリーについて全く触れられていなかったことがバネになった」との実行委員会の記載があった。

・今回の取り組みはロータリーが長年ポリオ撲滅に対しての活動を行っていることを世に再度アピールする為にも、またさらに会員自体に意識を強く持たせるためにも、とても良いイベントだったと思う。

・この記事をきっかけに、世界ポリオデーがなぜ10月24日なのかを私自身新たに学んだ。

・初めてポリオ・ワクチンを開発したチームを率いた米国の医学者 Jonas Salk(ジョナス・ソーカ)の誕生日を記念して、国際ロータリーによって彼の没後17年後の2012年に設立されたこと、同時に2012年は日本におけるポリオの単独の不活性ワクチンおよび4種混合が導入された年であることを知った。非常に感慨深いものがある…

・テレビのインタビューでジョナス・ソーカ氏が「誰がこのワクチンの特許を保有しているのか」と聞かれたのに対して「特許は存在しない。太陽に特許は存在しないでしょう。」と述べた逸話は有名。個人的な利益は一切求めなかったソーカ氏の生き方が…職業奉仕というロータリーの真髄にマッチングしている…と深く感じた。

・2021年1月1日～10月28日までの間、野生型ポリオの発症件数は2件のみ。常在国は現在2か国・パキスタン・アフガニスタンにおいて各1件のみ

・日本においても1980年を最後に野生型ポリオの発症は0、しかしそれ以後もポリオワクチンの接種は30年後の今日まで続いている。

・人類が今までに根絶した病気は天然痘だけ…医学の発展があるものの、病気を根絶することの難しさを痛感する。

・10月6日の例会で勉強会講師をお願いしたポリオプラス委員会委員長の川松様が、「ポリオ根絶という地道な取り組みを行っていることこそがロータリーらしい」とお話をされていた。

・日本の実情を考えると、世界で症例数が0になった後も、継続的に支援を行っていく必要があることを示している。成果が数字に表れないこれからの時代こそ、どのような支援体制を継続できるのか…これらが本当の意味でのロータリーの真価が問われる時期となるのでは…ということを強く感じた。

・今年度若林ガバナーの強い思いに賛同し、ポリオへの寄付額を、50ドルに上乗せすることに、東京丸の内のメン

バーは全員一致で賛同をしたことは大変意義のあることだと感じている。

## 8. 卓話

### 《卓話者の紹介 事務局 桑原氏》

チエリストの袴田様の紹介文を寿原会員に配っていただいている。

略歴は、日比谷高校卒業後、音楽大学の最高峰、最難関の東京芸術大学に入学された。袴田様の学年では、チエロの演奏者として合格された方は全国で5人のみ。今は演奏活動に加え後進の指導、さらに小児がんの子どもたちとその家族を応援する活動を行っている。年初のひと時をバッハの調べで過ごさせていただき、明るい新年のスタートとさせていただく。

## チエロ演奏者 袴田 容 様

### 「J.S.バッハ:無伴奏チエロ組曲の魅力～第1番を題材にして」

改めましてこんにちは。

ご紹介に与りました袴田です。

私は組織に所属しない、フリーランスというカテゴリーの演奏者。

NPO法人・自分の団体を組織する等、様々な取り組みを行なっている。

どの世界・ジャンルでも同じだと思うが、今の時代は演奏だけでは厳しく、マルチタスクが求められる。

理事を行っている認定医療法人朴の会では、小児がんの子供達、親御さん、医療関係者を音楽で支援している。

具体的な取組内容は年1回大きなコンサートを開催。チケット代金を病院に寄付している。

毎月病院に直接出向き演奏会を開催。

コロナ前は聖路加国際病院、府中にある都立小児総合医療センターを訪問して、小児病棟のプレイルームで演奏。

今はビデオレターとして部屋で収録、編集をして映像を月1で届けている。

NPOのコンサートのチラシを配布させて頂いた。

今回は「バッハの魅力」を、チエロ組曲第1番を題材としあ伝えます。

ヨハン・セバスティアン・バッハの人の概要について。

音楽家のバッハ家に、アイゼナハの地で生まれた。

バッハ家の末裔は現在いないが、1685年～1750年、65年間生きた。

身長180CM程で、当時のドイツ人としては大男。

棺があるが非常に大きい。

作曲家とともに優秀なオルガンの演奏者でもあった。

当時のオルガン奏者は一般的に教会に属しており、オルガン奏者としての日常はとても忙しい。  
文献によると毎週 1 回のミサ・毎月定例のミサ・毎年何回かの行事的ミサが開催される。  
ミサの度に新たな曲を作曲し演奏する。  
3 分の曲ならまだしも、ミサの間中、都度新曲を弾き続けることは大変なこと。

さらに教会の仕事とは別に、依頼をされ作曲をし、演奏もする。  
想像を絶する忙しさで、休みはなかったのではないかと想像できる。  
そのような日常を 65 年間過ごしたバッハは、結婚 2 回、子供は 20 人、成人したのは内 10 名程。その中の何人の息子は音楽家となっている。  
ちなみにバッハは直訳では小川さん。

無伴奏チェロ組曲は 1720 年頃に作られたと言われている。  
バッハが 35 歳ぐらいの頃、ドイツのケーテンで働いていた時の作品。  
六つの組曲で構成されていて、ひとつの組曲が 6 曲で構成されており全部で 36 曲の作品。

第 1 曲目「プレリュード」、残り 5 曲はフランスを起源とする舞曲。  
第 1 曲目の「プレリュード(前奏曲)」で入場、その後 5 曲踊るという構成。  
「アルマンド」・「クーラント」・「サラバンド」・「ジーグ」に加え、最後の 6 曲目は当時人気だった曲で構成されている。  
1 番 2 番「メヌエット」、3 番 4 番「ブーレ」、5 番 6 番「ガボット」。

アンナ・マクダレーナ・バッハ、二人目の奥様が写譜していた作品が残されているのみで、直筆譜が発見されていない。  
その後学者が研究し、バッハの作曲で間違いないだろうと言われている作品。  
直筆がないことの良し悪し。悪い点は、あやふやな事しか言えない。  
一方、演奏者が色々なことを模索することができるという点では良い事とも言える。  
演奏方法に正解がなく、時代に合わせて色々なスタイルで演奏することが可能。  
1 番の「プレリュード」は実際に色々な CM にも使われている。  
別スタイルで演奏されても、チェロ奏者として何も違和感・罪悪感を感じない事、広い解釈が可能である事が良い点。

オルガン曲をチェロ曲に落とし込むことを実践。  
オルガンは 1 度に 12 音の演奏が可能。手で 10 音+足のペダルで 2 音を鳴らす。  
チェロは三つの音が限界。  
バッハはチェロの構造に加え、人の研究もしていたと思われる。  
具体的には、弦楽器は弾いていなくても響いている人が感じる開放弦の音があり、さらに入間の記憶を想定して作曲をしたのではないか。

「プレリュード」は、それらが良く理解できる曲になっている。

単に十六分音符が羅列されていてポリフォニック音楽に聞こえるが、合唱をイメージして 3 つのパートで構成されている事(3 人が歌っている事)を意識して聞いていただくといい。

～曲演奏～

次に演奏する「サラバンド」は 三拍子の曲。  
3 拍子で有名なのは 1 拍目が強拍の「ワルツ」。「サラバンド」は 2 拍目が強拍になっているゆっくりな踊りで、多声音楽(ポリフォニー)の意味がよく分かる曲。

16 世紀頃、ラテンアメリカ・スペインなどで起こった踊りといわれている。  
一説によるとスペインでは 女性が踊るには官能的過ぎるとして禁止された曲。  
当時の女性は床まで着く程の長いドレスを着ていたが、当時の踊り子さんは床から 10 センチぐらい裾が上がっているドレスを着ていて、踝が見えるドレスを着ていたことが官能的といわれていた根拠なのでは・・と考える。

～曲演奏～

次は「ジーグ」。  
2 拍子または 3 拍子の舞曲で、太鼓がよく使われていた事が特徴的。  
チェロ一本で太鼓感を出すところが、流石バッハの絶妙と言える。太鼓感を感じていただければと思う。

～曲演奏～

無伴奏組曲の魅力を伝えてきた。  
クラシック音楽は音の羅列で抑揚もなく、眠くなってしまう感じる方もいるのでは。  
何か知識があると、興味を持って聞いていただけるのではないかと思う。  
コロナ禍で演奏家は非常に苦しい状況に立たされている。  
仕事がキャンセルになり、淘汰されてしまった人々も結構たくさんいる。  
演奏家は演奏会を開いて生業として成り立つ。  
リアルで来ていただくことはなかなか厳しいが、技術が発達しオンラインで聞いていただける機会が広まっているのも事実、是非聞いていただければ演奏家の一人としてとても嬉しい。

ご清聴いただきありがとうございました。

会長さんのお誕生日が今月と聞いていますが、バースデーソングでも弾きましょう..  
(1 月生まれの古山会長、尾崎会員、高橋会員に向けて)

軽く手拍子などしていただけするとよろしいかと…

～バースデーソング演奏～

司会 吉田会員:

ありがとうございました。お誕生日の皆さんおめでとうございます。

ご質問等ありましたらどうぞご遠慮なく。

竹本氏:

素晴らしい演奏ありがとうございました。お話にあったオンラインという点で、観客もクラシックは生で聴いてこそ…と思っていますが、今後それをどのように乗り越えて演奏しようとしていくのか?

袴田氏:

一つの方法として、通常の演奏を映してというのでは面白くないので、映像とか他の演出と一緒にエンターテイメントとして楽しんでいただけののではないかと思っている。

そこには映像編集の技術が必要。

舞台演奏の場合には演奏家が遠いが、オンラインではカメラの位置を通常と違う場所(手許等)に設置すると等、小技を効かせることができると思う。

お客様の要望をどのように取り入れるかが非常に難しいところではある。

今後、技術が発展していくにつれて、我々もそれに合わせてやり方を考えいかなければいけないと思う。

## 9. 今後の予定

古山 真紀子 会長

袴田様、ありがとうございました。

当クラブでも演奏会は何回か候補に挙がっていたが、機会がなかった。

本日は「題名のない音楽会」のような、私たちの為だけの贅沢な時間だったと思う。

ハッピーバースデーの生演奏は初めて、音楽は心を豊かにしてくれると改めて感じた。

袴田先生に感謝するとともに、ご紹介下さった桑原さんにも感謝したい。

1月 19日 第 92回例会	通常例会 特定非営利活動法人 ねりまねこ 亀山嘉代 副理事長
2月 2日 第 93回例会	ゲストウェルカムデー・オープン例会 高橋 由珠 会員 「開運:今年1年の運勢」
2月 16日 第 94回例会	通常例会 小泉池袋 RC 副会長 「講談の歴史」

## 10. 閉会点鐘

古山 真紀子 会長

## 11. 写真撮影

創立日: 2017年7月24日  
認証日: 2018年2月26日  
認証式: 2018年5月28日  
事務局: 東京千代田区丸の内2-3-2 邮船ビル1F  
TEL:+81 3-5533-8846  
E-mail: marunouchi-rc@outlook.jp(事務局:桑原奈知子)  
URL: <https://www.tokyomarunouchi-rc.com/>

例会日: 第1・第3 水曜日  
12時00分 - 13時00分  
例会場: 東京千代田区丸の内2-1-1 明治生命館 B1F  
センチュリーコート丸の内  
(covid-19の期間中はオンライン例会の可能性あり)  
会長: 古山真紀子 幹事: 鷺澤充代